

「わが村は美しくー北海道」運動

「わが村は美しくー北海道」運動とは



Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることを旨とし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

第11回コンクール (2023～2024) 室蘭ブロック 応募団体



優秀賞

ニサナイ大地の会 (むかわ町)

【若い世代が将来も地域を担っていける姿を目指す】
いまできる事から取組を進め、地域が目指す未来予想図を作成し、花壇整備、隣接する道道沿いの清掃など地域の美化に取組んでいます。地区内に営巣するエゾフクロウを守るため巣箱の設置や、ニサナイマップを作成・配布することで地区のPRに取組んでいます。



奨励賞

合同会社 自然農業社 (壮瞥町)

【農福連携による有機農業の実践】
野菜、豆類を有機農法で生産し、自然の生態系を活かした農業を目指すとともに、障がいを持つ方々の自立を支援することにより農福連携を推進し、地域づくりを実践しています。生産した農産物の加工販売など6次産業化の取組で「自然農業社」ブランドとして販売しているとともに、冬期間の作業を創出しています。



奨励賞

壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合 (壮瞥町)

【温泉熱活用によるクリーン農業と「オロフレトマト」のブランド化】
温泉熱を利用し生産を行い、栽培管理方法の統一、共選の一元集出荷により安定供給しています。「オロフレトマト」は、害虫の少ない冬期間に栽培され、通常栽培より農薬を減らしています。暖房は温泉熱のみで化石燃料を使わずカーボンニュートラルに寄与しています。

壮瞥町こだわり米を作ろう会 (壮瞥町)

【「こだわり」の心をこめて作るお米】
昭和新山や洞爺湖がもたらす素朴な自然のめぐみの中、農業や化学肥料の使用を抑え「こだわり」の心をこめて美味しいお米を作ることだけに重きを置いて生産をしています。消費者が喜んでくれることを第一に考え「食味を追求した」こだわりのお米を栽培しています。

合同会社うさぶカンパニー×ファームインひだかくるみちゃんハウス (日高町)

【地域農産物の販売と体験型交流による地域活性化】
地元野菜の直売所の閉店が決まり、地域の衰退を危惧し「うさぶカンパニー」を立ち上げ、農産物等を扱う「さくる」を運営しています。「ひだかくるみちゃんハウス」では地域と町外の人たちの交流の場としてお米作り体験を開催し、収穫したお米の一部をはさ掛け米として「さくる」で販売しています。

チーズ工房1103×広富農事組合法人 倶里夢(くーりむ)牧場 (日高町)

【「お口の中がほっこり幸せになるチーズと持続可能な酪農」を目指して】
「倶里夢牧場」で家族のように育てた牛の生乳をチーズにして届けたい。その思いから、一つ一つ心を込めて作っています。「倶里夢牧場」は、3つの牧場が1つとなって設立した牧場で、倶は「仲間」、里は「故郷」、そして「夢」、そんな意味が込められています。

姉富東ふるさと守り隊 (浦河町)

【誰もが住んでみたい豊かな美しい農村景観づくり】
水路や農地などを地域の共有財産として次の世代へ引き継ぐ活動を行っています。誰もが住んでみたい豊かな美しい農村になるよう「小学生を対象にお米作り体験や収穫祭」「花の植栽による景観形成」に取組んでいます。活動参加者を掲載したカレンダーを作成し、啓発・普及活動を行っています。

団体活動状況



FacebookはこちらのQRコードからご覧頂けます。